

授業科目 社会病理学

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	社会
寺田 貴美代		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【一般目標：G10】 虐待や貧困、自殺、差別、暴力など、現代社会におけるさまざま社会現象について、社会病理学の視点から理解するための基本的な考え方を修得する。 社会問題に対する自分なりの考え方をもち、さらに他者との意見交換を通して問題意識を深める。					
【行動目標：SB0】 1. 社会病理学に関する基礎を修得する 2. 社会福祉分野に関する社会問題を理解し、考察する 3. 社会問題に対する自分なりの意見を説明する 4. 他者と意見交換することにより、それぞれの問題意識を深める					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション			1	講義
2	虐待（１）			1～4	講義
3	虐待（２）			1～4	講義
4	貧困（１）			1～4	講義
5	貧困（２）			1～4	講義
6	自殺（１）			1～4	講義
7	自殺（２）			1～4	講義
8	差別（１）			1～4	講義
9	差別（２）			1～4	講義
10	暴力（１）			1～4	講義
11	暴力（２）			1～4	講義
12	マイノリティ問題（１）			1～4	講義
13	マイノリティ問題（２）			1～4	講義
14	さまざまな社会問題			1～4	講義
15	まとめ			1, 2, 3	講義
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		特に指定しません（プリントを配布します）。			
参考書		『新版増補版 社会学小辞典』		濱嶋朗、石川晃弘、竹内郁郎編	2005・4, 410円
その他の資料		授業で配布するプリントに、必要な資料を掲載します。			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
1. 授業中に配布するプリントの提出内容、2. 出席数、3. 授業への参加度を総合して評価します。			講義を一方的に聞くのではなく、他の学生と意見交換をする機会を設けます。そのため、授業へ積極的に参加し、発表する姿勢が必要であり、それをもとに授業への参加度を評価します。		